



事前復興まちづくりに取り組むことでSDGsの推進につながります

第1回事前復興まちづくり訓練を開催しました！

令和5年9月5日(火)に「第1回羽田地区事前復興まちづくり訓練」を開催しました。

訓練には約30名が参加し、「被災者の視点でまちの資源・課題を理解する」と題して、事前復興及び地域協働復興について学び、復興の視点で重要となる羽田地区の課題や資源を考えました。

●当日のプログラム

1. ガイドンスの振り返り
2. 講義
「地域協働復興と羽田地区の特性・訓練用被害想定」
3. アイスブレイク『住まいの復興』をイメージする
4. グループワーク
「事前復興の視点でまちの資源と課題を整理する」
5. アドバイザーによる解説・振り返り



第1回訓練の様子をご紹介します！

●アイスブレイク『住まいの復興』をイメージする

グループワークに入る前に、住まいの復興の流れをイメージすることを目的としたアイスブレイクを実施しました。

アイスブレイクでは、「羽田3・6丁目地区在住の東京さん(72歳)」になりきって、設定された被害状況や生活の状況等を踏まえて仮住まいや自宅の再建などの住まいの復興をどのように進めていくべきかを考えました。

参加者から挙げられた主な意見は、以下のとおりです。同じ世帯設定で考えても、参加者ごとに様々な意見が出ることが分かります。



東京さん
(72歳)

- 世帯構成 妻(70歳)
- 区内居住歴 72年
- 職業 無職(元会社員)
町会・自治会長

- 家計状況 年金暮らし
- 建物 戸建て住宅(木造・築40年)
- 居住地区 羽田3・6丁目
- 被害状況 ①応急危険度判定「危険」
②住家被害認定調査「全壊(全焼)」



全壊・全焼のため在宅避難は難しい

自治会長ということもあり、住み慣れた地区に残って生活を再建したい

親戚の家に避難し、落ち着いたなら羽田地区に戻りたい



高齢で新しく家を作るのは難しいできれば、災害公営住宅に入居したい

住み慣れた地区で住むために賃貸の住宅を探したい

仮設住宅や避難所等では災害関連死のリスクもあるのでは？

●グループワーク「事前復興の視点でまちの資源と課題を整理する」

発災直後から復興期にかけての羽田地区の課題や、復興時に住みたい・新たにこの場所に住みたいと思うまちにしていくための羽田地区の魅力について意見交換をしました。

各グループでは、道路や公園等に関するハード面の課題や復興の際の資金、住まいに関する課題が多く挙がり、一方で魅力については、羽田地区特有の文化や人のつながりに関する意見が多く挙がりました。

●主なご意見

発災直後

- ・木造の住宅が密集しているため火災が心配
- ・建物の倒壊によって道路が塞がれる危険がある
- ・高齢者の1人暮らしが多く避難できるか心配

避難生活

- ・避難所の数が足りないのではないか
- ・避難所でのプライバシーが心配

応急・復旧 (仮住まい)

- ・仮設住宅の用地として使えそうな場所がない
- ・住宅の再建に向けた資金の確保が心配

復興期

- ・元々住んでいた場所に戻れるのか心配
- ・道路の拡幅や公園の整備が必要
- ・高齢のため自費で自宅を建てるのは難しい

課題

魅力・資源

- ・密集市街地のため日頃から火事に気を付けている
- ・近所に知り合いが多いため、声掛けができる

- ・高架下を活用して炊き出しができる
- ・地区内のホテルや企業等を避難所として活用できないか

- ・人との繋がりが強く、地区から出たくはない
- ・多摩川沿いの被害が少なければ、土手を活用できる可能性がある

- ・路地の文化は残したい
- ・赤レンガの堤防は地区の資源である
- ・多摩川の風景は地区の特徴であり、残したい

●アドバイザーによる解説・振り返り / 東京都立大学 市古太郎 教授



アドバイザー

いちこ たるう
市古 太郎 氏

東京都立大学 都市環境学部
都市政策科学科 教授
大田区都市計画マスタープラン
改定委員 (令和4年3月)

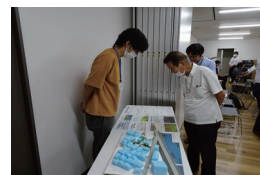
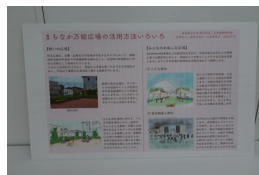
訓練では参加者の活発な議論を受けて、一人ひとりの復興に対する強い熱意を感じました。

復興時の住まいの再建については、どのような選択肢が考えられるかを事前に検討し、備えることが重要です。今回のワークで皆さんから出た意見を次回の訓練につなげ、地域の将来像を考えていきましょう。

市古研究室の学生によるまちづくりの提案を予定しています！

羽田地区事前復興まちづくり訓練では、平時・復興時の課題に対応した羽田のまちづくりについて、東京都立大の都市防災・災害復興研究室からの提案を予定しています。第1回訓練では、学生による現時点での提案として、「路地」「高架下」「広場」「水辺」を活かしたまちづくりについて説明があり、参加者の皆さんから様々なご意見や感想をいただきました。

次回以降の訓練では、詳細の提案を予定しており、研究室とも連携しながら羽田地区の将来像を考えていきます。



参加者の感想

- ・今まで想定していなかったことを考えるきっかけになった。
- ・自由に発言ができ楽しめた。良い結果につながると期待したい。
- ・羽田の生活がよりよい方向にいけば良い。



●今後の訓練のスケジュール

第2回

まちの将来像を考える

令和5年12月20日(水) 18:00～20:00

第3回

事前復興まちづくり計画をまとめる

令和6年4月23日(火) 18:00～20:00

訓練の最終成果として
「事前復興まちづくり計画」
をとりまとめます！

発行・
問合せ先

大田区まちづくり推進部 都市計画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
TEL 03-5744-1333 FAX 03-5744-1530